

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月24日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アドテック
 コード番号 6840 URL <http://adtec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 厚坂 誠

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長

(氏名) 薄木 豊

TEL 03-6736-5300

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	634	△39.4	△4	—	0	△82.6	1	△45.0
23年3月期第2四半期	1,047	32.9	10	—	2	—	3	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
24年3月期第2四半期	0.17	—	
23年3月期第2四半期	0.31	—	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
24年3月期第2四半期	1,380	—	1,127	—	81.6	113.66
23年3月期	1,432	—	1,131	—	78.6	113.54

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,127百万円 23年3月期 1,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,850	4.1	32	39.1	30	87.5	26	62.5	2.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,266,720 株	23年3月期	10,266,720 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	348,703 株	23年3月期	348,603 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	9,918,053 株	23年3月期2Q	9,920,555 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(7) 重要な後発事象	7
5. 補足情報	8
販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの復旧により打撃を受けた経済活動に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、原発停止に伴う生産の低迷、世界的な金融市場の混乱を受けた海外経済の下振れリスク、円高の進行など、経済環境の先行き不透明感が拭えない状況が続いております。

当社製品に関連する半導体メモリ市況に関しては、需要低迷によりDRAM価格は大幅に下落しました。また堅調に推移していたNAND型フラッシュメモリ価格についても横ばいからやや下落となりました。

こうした状況の中、第2四半期累計期間の売上高は、OEM顧客の生産減、生産の先送りによる出荷数の減少、また売上単価の下落により、メモリモジュール製品で261百万円（前年同期比65%減）、フラッシュメモリ製品は新規大型案件の受注により261百万円（前年同期比30%増）となりました。その他製品群につきましては110百万円（前年同期比26%増）となりました。

これにより第2四半期累計期間の売上高は634百万円（前年同期比39%減）となりました。売上総利益につきましては売上総利益率の改善はあるものの売上高の減少に伴い150百万円（前年同期比5%減）となりました。販管費は引き続き経費の適正化を図り155百万円となり、コスト低減を最大限進めたものの営業損失は4百万円（前年同期は営業利益10百万円）となりました。経常利益は為替差益、雑収入等によって0百万円（前年同期比83%減）、四半期純利益は1百万円（前年同期比45%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期末における流動資産の残高は1,300百万円（前事業年度末は1,344百万円）となり前事業年度末と比較して43百万円減少しました。主な要因として、現金及び預金が51百万円、その他（未収入金）が17百万円減少したほか、受取手形及び売掛金が22百万円、その他（前渡金）が3百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期末における固定資産の残高は80百万円（前事業年度末は88百万円）となり前事業年度末と比較して8百万円減少しました。主な要因は有形固定資産が2百万円増加、他方、無形固定資産が3百万円、投資有価証券が2百万円、差入保証金が3百万円がそれぞれ減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期末における流動負債の残高は203百万円（前事業年度末は253百万円）となり前事業年度末と比較して50百万円減少しました。主な要因として、買掛金が25百万円、短期借入金が5百万円、その他（未払金及び未払費用）が13百万円、賞与引当金が4百万円、未払法人税等が1百万円それぞれ減少いたしました。

(固定負債)

当第2四半期末における固定負債の残高は49百万円（前事業年度末は48百万円）となり前事業年度末とほぼ同額となりました。当第2四半期累計期間において主な変動はありませんでした。

(純資産)

当第2四半期末における純資産は1,127百万円（前事業年度末1,131百万円）となり前事業年度末比較して4百万円減少しました。主な要因として、新株予約権が5百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローは46百万円の支出（前年同期は43百万円の獲得）、投資活動によるキャッシュ・フローは0百万円の獲得（前年同期は15百万円の獲得）、財務活動によるキャッシュ・フローは5百万円の支出（前年同期84百万円の支出）等の結果により当四半期累計期間末の残高は前事業年度末と比べ51百万円減少の775百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の支出は46百万円となりました。主な要因は、売上債権の増加21百万円、仕入債務の減少25百万円であり前年同期と比べると90百万円の減少となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の獲得は0百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出7百万円、保険積立金の解約による収入2百万円、差入保証金の回収による収入3百万円等によるものであります。前年同期と比べると14百万円の減少となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は5百万円となりました。主な要因は短期借入金の純減5百万円によるものであります。前年同期と比べると78百万円の増加となっております。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては平成23年10月24日に第2四半期累計期間のみ業績予想を修正しております。通期の業績予想に修正はございません。

尚、上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は平成22年3月期において売上高の著しい減少及び継続的な営業損失が発生し、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況その他会社の経営に重要な影響を及ぼす事象が存在しております。新しい経営陣によりメモリ製品、車載製品、エコ環境製品の三製品に選択、集中し、売上高の拡大を目指すとともに、徹底した在庫管理のもと大幅な在庫削減を図り、また固定費の削減を実施した結果、平成23年3月期は営業利益を計上したものの、当第2四半期累計期間においては震災等の影響のあおりを受け車載機器向けSDカードの販売開始時期が下期へのずれ込み等が発生したことにより営業損失となりました。しかしながら自動車の生産復旧基調が下期早々顕著であり販売案件のずれ込み等も解消される予定であり、通期としましては、営業利益を確保することをみこんでおりますので、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	826,939	775,692
受取手形及び売掛金	265,896	287,866
商品及び製品	127,678	103,576
仕掛品	3,972	10,881
原材料及び貯蔵品	21,340	37,597
その他	103,313	90,112
貸倒引当金	△4,965	△5,003
流動資産合計	1,344,175	1,300,724
固定資産		
有形固定資産	23,852	26,195
無形固定資産	20,408	17,592
投資その他の資産		
その他	75,234	65,436
貸倒引当金	△31,251	△29,028
投資その他の資産合計	43,982	36,407
固定資産合計	88,244	80,195
資産合計	1,432,420	1,380,919
負債の部		
流動負債		
買掛金	65,077	39,773
短期借入金	125,334	120,000
未払法人税等	4,857	3,203
賞与引当金	14,875	10,600
その他	42,997	30,422
流動負債合計	253,140	203,999
固定負債		
退職給付引当金	17,038	18,668
資産除去債務	5,089	5,089
その他	25,959	25,923
固定負債合計	48,086	49,680
負債合計	301,227	253,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,000	700,000
資本剰余金	541,856	81,335
その他資本剰余金	—	460,520
利益剰余金	16,614	18,309
自己株式	△130,954	△130,961
株主資本合計	1,127,516	1,129,204
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,408	△1,964
評価・換算差額等合計	△1,408	△1,964
新株予約権	5,084	—
純資産合計	1,131,192	1,127,240
負債純資産合計	1,432,420	1,380,919

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,047,110	634,059
売上原価	887,931	483,296
売上総利益	159,179	150,763
販売費及び一般管理費	149,039	155,123
営業利益又は営業損失(△)	10,139	△4,360
営業外収益		
受取利息	228	133
受取配当金	10	10
為替差益	—	3,349
雑収入	4,242	1,738
営業外収益合計	4,481	5,231
営業外費用		
支払利息	846	429
為替差損	11,234	—
営業外費用合計	12,080	429
経常利益	2,539	442
特別利益		
貸倒引当金戻入額	403	—
過年度損益修正益	5,863	—
新株予約権戻入益	574	5,084
特別利益合計	6,840	5,084
特別損失		
固定資産除売却損	1,871	37
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,247	—
投資有価証券評価損	—	2,058
違約金	1,770	—
特別損失合計	4,888	2,096
税引前四半期純利益	4,491	3,429
法人税、住民税及び事業税	1,406	1,734
法人税等合計	1,406	1,734
四半期純利益	3,084	1,695

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,491	3,429
減価償却費	5,754	7,871
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	2,058
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	148	△2,185
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,962	△4,275
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△961	1,629
受取利息及び受取配当金	△238	△143
支払利息	846	429
為替差損益 (△は益)	11,137	△63
売上債権の増減額 (△は増加)	△29,630	△21,969
たな卸資産の増減額 (△は増加)	44,194	935
仕入債務の増減額 (△は減少)	23,227	△25,303
前渡金の増減額 (△は増加)	2,389	△4,137
その他	△18,899	△1,471
小計	47,421	△43,195
利息及び配当金の受取額	238	143
利息の支払額	△846	△429
法人税等の支払額	△3,643	△3,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,170	△46,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△938	△7,605
貸付金の回収による収入	86	88
差入保証金の回収による収入	5,000	3,230
敷金の差入による支出	△682	—
保険積立金の解約による収入	10,498	2,965
その他	1,871	2,223
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,835	901
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△83,996	△5,334
自己株式の取得による支出	△79	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,075	△5,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,137	63
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△36,206	△51,246
現金及び現金同等物の期首残高	796,481	826,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	760,274	775,692

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月28日開催の第29回定時株主総会の決議に基づき、平成23年7月31日を効力発生日として資本準備金の281,335千円のうち200,000千円を減少し、その他資本剰余金へ振り替えを行っております。減少後の資本準備金の金額は81,335千円であります。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

販売の状況

品目	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同期比 (%)
メモリモジュール製品 (千円)	261,766	34.5
フラッシュメモリ製品 (千円)	261,629	129.8
その他周辺機器 (千円)	110,664	126.1
合計 (千円)	634,059	60.6

(注) 1. 上記金額には消費税は含まれません。